

アジェンダ21すいた エコシター 7月号

連日の炎暑でございますが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

7月になり、いよいよパリオリンピックが開催されますね！編集部一同楽しみにしております。

良永ゼミでは、6月に高槻合宿に行き、班分けを行いました。また、eco検定の輪読も終わり、本格的な班活動がスタートしました。

これからの班活動を通して、研究を進め、皆様のお役に立てるように頑張りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

【関西大学良永ゼミ 幹事一同】

もくじ

■表紙	…1
■「もったいないキッチン」映画会を開催しました・ 大阪ガスカーボンニュートラルリサーチハブ施設見学	…2
■特定外来植物を使った草木染め・みどりのカーテン講座	…3
■5月25日映画とセミナー「再エネ増やして未来ある日本を」報告	…4
■アジェンダ21すいた 市役所ロビー展示 6/10～17・ 全国スーパーマーケット環境調査2023報告会	…5
■おおさか環境賞と環境大臣賞を受賞しました！・良永ゼミ班紹介	…6
■良永ゼミ班紹介	…7
■各種募集・イベント案内	…8

「もったいないキッチン」映画会を開催しました

5月12日(日)、食品ロス啓発のための映画会に14名の参加がありました。

“もったいない”精神に魅せられてオーストラリアから日本にやってきた、食品救出人で映画監督のダーウィド・グロス(吹替は俳優の斎藤工)が福島から鹿児島まで、旅のパートナーニキとキッチンカーで巡った4週間1,600kmの旅。もったいないアイデアを持つシェフや生産者などとの出会いを撮影した2020年のロードムービーです。



コンビニ大手から廃棄する予定の食材を譲り受けて調理したり、野草料理研究家を訪ねたり、鳥取県ではビールとパンの製造により、「自然環境との共生」を図っているパン屋、トートバックによるコンポスト作りなど、その他にもたくさんの出会いから“もったいない”を見直すきっかけとなりました。

参加者からは「楽しく、考えさせられた」「子供たちにもみてもらいたい」「映画の内容を人に伝える」「行動を起こそうと思う」「生ごみのリサイクルが吹田市でも進めばよい」のように、今後の行動に変化が期待できました。

(食品ロス削減FP 水川 晶子)

大阪ガスカーボンニュートラルリサーチハブ施設見学

当該研究施設は、再生可能エネルギーや水素を利用したメタネーションなどによって、2050年カーボンニュートラル(CN)への実現に挑戦する研究開発拠点として、設置運営されています。「都市ガス」「水素・アンモニア」「電気」、それぞれに対して、「エネルギーを作る技術とうまく使う技術」の技術開発に取り組んでおられます。

CN化のキーテクノロジーとしてメタネーション技術があります。再生可能エネルギーから製造された水素を原料として、メタネーション技術で合成された「e-methane」を化石燃料と代替えることで化石燃料由来のCO₂を削減する効果があります。

さらに、革新技術とされている超高効率SOECメタネーションの開発も進んでおり従来型のメタネーションよりさらに大幅なコストダウンが期待できるとされています。

また、生ごみ等によるバイオガスメタネーションの実証事業にも取り組んでおられ、この事業は環境省のモデル事業にも採択されているそうです。

まだまだ技術的課題はありますが、様々なイノベーションによりCN実現へ挑戦し、社会全体へのCO₂排出量削減に貢献されています。

2050年CN実現に向けては、様々なアプローチがあることを認識し、その実現に向けて再生可能エネルギーを有効活用しながら、官民一体となって持続可能な社会にすべく、更なる努力が必要と改めて感じました。

(エネルギー部会 岡本 栄一)

特定外来植物を使った草木染



いま大きな問題となっている外来種の駆除について、ただ駆除を訴えるだけでは多くの方に届かないのでは、何か興味を持てることを通じて外来種問題を考える機会にしたい、駆除して終わりではなく何かに利用できないか、と考え今市内で広がっているオオキンケイギクで草木染をしました。オオキンケイギクは特定外来植物であるため、駆除に関してはさまざまな法的な制限があります。

今回参加された方の中にも地域で駆除活動を進めているが、申請・告知について制約が多くありこれをクリアして多くの方に参加してもらうにはどうすればいいのか、何か参考になるヒントがあればと参加された方もおられました。

アジェンダ自然部会の活動紹介の後、オオキンケイギクは駆除が目的なので根から茎、葉と花の全てを使って熱湯で処理し木綿のハンカチを、ミョウバンを使ったアルミ媒染と鉄媒染の2つの方法で染めました。(写真)

小学生を含めた家族で参加していただいた方もあり、外来種問題について考え、意見交換をしながら楽しく終わることができました。(自然部会 藤田 和則)



みどりのカーテン講座

5月25日(土)、千里山コミュニティセンターにて「みどりのカーテン講座」を開催しました。今回の講座でも様々な質問やご意見が飛び交い、みどりのカーテンの関心の高さを改めて実感しました。〈実演を交えた講座〉

ゴーヤなどつる性の植物を窓辺で育て、直射日光の遮断と植物の蒸散作用により夏の暑さを和らげようとする“みどりのカーテン”。その醍醐味はなんといっても、植物を育てる楽しみ、そして、美味しくいただく喜びにあるのではないのでしょうか。

講座では、そのあたりをなるべく分かりやすく説明しました。また、初心者でも簡単にチャレンジできるように、ゴーヤの育て方のポイント、水やりや土・肥料の事など写真を用いて紹介しました。また苗の植付け、ネットの設置の実演をしました。

講座の後、色々な質問が飛び交いました。特にネット設置のやり方についての質問が多かったように思えます。ゴーヤを育てる環境によって生育具合や設置方法が異なるので、そのあたりをお聞きし、精一杯お答えしました。(自然部会 寺西 信昭)

5月25日映画とセミナー

「再エネ増やして 未来ある日本を」報告

セミナーではまず、ドキュメンタリー映画『日本と再生』（ダイジェスト版）の上映がありました。世界各地そして日本もめぐり、自然エネルギーの最前線で挑戦する人々の声を聞くとともに、自然エネルギーが急速に普及している実情をカメラに収め、改めて自然エネルギーが持つ可能性の大きさを強く訴える映画でした。

その後、CASA（NPO 法人 地球環境市民会議）の事務局長をされている宮崎学さんより、「COP28 報告会 地球沸騰化の時代の希望 再エネ」というテーマで講演を行っていただきました。

10年前に比べて、世界の熱波・洪水・干ばつ等の異常気象が明らかに増えており、国連のグテーレス事務総長は「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が来た」と語りました。

飲料水や食べ物、住居、健康問題など、極めて『基本的な人権問題』が複合的に発生しており、温暖化による異常気象によって、立場の弱い人が命まで危険にさらされ「生存権」が脅かされる状況は、もはや「人権問題」だとの話がありました。参加者からも「人権問題になっていることに驚いた。広く知ってもらう事が必要です。」と感想が寄せられました。

農業・漁業への影響も深刻で、温暖化への対策を取らないと、大阪の気温は（21世紀末には）、16.6℃から4.2℃上昇し、20.8℃になり、真夏日は2か月⇒4か月に、猛暑日は1週間⇒1か月半に、熱帯夜は1か月⇒3か月になるというシミュレーションは、リアルな恐ろしさを感じました。



地球温暖化は石炭などの化石燃料を燃やし続けることが原因だと、科学的方法で明らかにされており、124か国が参加したCOP28の宣言では、エネルギーシステムにおいて「化石燃料からの脱却」が初めて決定に入ったとのことでした。（残念ながら、日本は4COP連続で化石賞を受賞…）脱炭素社会の実現に向けて大切なこととして、COP28で「再生可能エネルギーを3倍にエネルギー効率を2倍にすること」が強調され、すでに風力・太陽光などの再生可能エネルギーは技術的にも進歩して発電コストも大きく下がっているとのことでした。

日本も2000年ごろには再エネ技術のトップにいたのに政策的な遅れの中で、世界各国に追い抜かれ再エネ比率が世界122位と残念な状況になっているとのこと。しかし、環境省の試算では、日本には、再エネのポテンシャルが電力供給量の2倍も存在するとのこと、明るい希望です。

「なぜ、日本は世界に比べて遅れてしまっているのか？」と会場より質問があり「今すでにある産業（化石燃料の火力発電所など）を守ろうという姿勢の政策のため」とのことでした。

参加者からは、「映画・講演とも、とても分かりやすかった」「エネルギー自給・エネルギー自治を目指す私たち市民の取り組みが大切だと再認識しました」等感想が寄せられ、最後に吹田から市民共同発電を市民の力で広げるための事業体設立の報告もありました。（エネルギー部会 井上 道代）

映画とセミナー

「地球沸騰の時代」といわれる今、国連の気候変動会議COP28では「化石燃料からの脱却と再エネ3倍」が国際社会の共通の目標として合意されました。そのための取り組みを市民がしていくことの大切さと展望を、ドキュメンタリー映画とCOP28の報告から考えましょう。

再エネ増やし 未来ある日本を

- 1 映画『日本と再生』
ダイジェスト版上映会
- 2 COP28報告会
地球沸騰化時代の希望・再エネ

COP28UAE

アジェンダ21 すいた 市役所ロビー展示 6/10～17

環境月間の6月、毎年恒例になったロビー展示が行われました。

温暖化防止FP「すいたクールアースウィーク2024(9/24～10/11)」と、すいたムーンライトコンサート2024(10/11(金)18:00～20:00 江坂公園野外ステージ)開催の告知、食品ロス削減FP「てまえどり、すいた食べきり運動など」、エネルギー部会「じぶん発電所など」、資源部会「マイカップ・マイボトルで得するカフェマップ」、自然部会「植えてはいけない! 特定外来植物、在来種の庭など」の展示を行いました。



(資源部会 水川 晶子)

全国スーパーマーケット環境調査2023 報告会

～環境調査からみえてきたこと、今後の展開～お店のプラスチック包装はどうなっている?

NPO 法人環境市民から堀孝弘さんを講師に迎え、調査の解説をお聞きました。

「フランス循環経済法」が2022年1月に施行され、野菜・果物(未加工の1.5kg未満の31種の青果物)販売時のプラ包装が禁止になりました。日本では「プラスチック資源循環促進法」が2022年4月に施行されましたが、カトラリーやストロー、アメニティグッズなど12品目の規制でフランスとは随分内容が違う法律です。

日本では野菜などのはだか売りはどの程度行われているのか、2022年11月、堀さんが中心になり京都市内で「お店のプラスチック調査」を市内スーパー62店で実施、商品点数比17.6%、商品棚面積比25.7%というデータを得ました。全国ではどうか?ということで、2023年は46団体137店舗で全国調査を行いました。大阪ではアジェンダ21 すいた、千里リサイクルプラザ市民研究所、大阪ごみ減量推進会議などが参加しました。青果物売り場のはだか売り率は約20%前後という調査結果が得られました。近畿以西に比べて中部以東がはだか売り率が高い傾向もみられました。

お店の棚ではだか売りをしていても売り場にプラ袋が置いてあって、適正利用を呼び掛ける表示がある売り場は0店でした。また、買った商品を袋に詰めるサッカー台のプラ袋の適正利用を呼び掛ける表示があるところは129店中7店のみでした。レジ袋が有料化され、マイバッグを持参する人が増えても消費者はサッカー台のプラ袋を減らすことへの意識が向かないのですね。

今年度も引き続き調査を行います。調査集計の省力化を図り、スマホでも入力できる方法を取り入れます。

(資源部会 水川 晶子)

おおさか環境賞と環境大臣賞を受賞しました！

2023 おおさか環境賞の大賞を受賞しました。

【活動名】温暖化防止に向けた全市的な取り組み
「すいたクールアースウィーク」

企業や各種団体などと連携した地元市をあげた取り組みが大きな盛り上がりを見せていることが高く評価されました。さらなる活動の広がり・発展が期待されています。

今後もより一層、市民に温暖化防止の意識を気軽に楽しく持っていただけるように活動していきたいと思えます。
(温暖化防止 FP 馬場 多佳子)

またこれを受けて、市民・事業者・行政が密に連携し、環境問題の解決に取り組んでいることが功績として評価され、アジェンダ 21 すいたが令和 6 年度の環境大臣賞（地域環境保全の推奨のため、多年に渡り、顕著な功績があった者・団体に送られる【地域環境保全功労者】として）を受賞しました。

今後とも、三者の力を持ちより、より一層邁進していきたいと思えます。



大阪環境賞授賞式の様子（大阪府庁本館にて）

良 永 ゼ ミ 班 ゼ 紹 介

6月に高槻で行ったゼミ合宿にて、研究テーマごとの4つの班が完成いたしました！！
完成した4つの班を簡単にですが、それぞれご紹介させていただきます！！

①水班



私たち水班は、森林の水質汚染に焦点を当てて研究しています。

これから、本の輪読や現地調査などを通して、様々な知識を蓄え、日本の水問題・森林問題に対する新たな案や改善策を見つけていきます。

②エネルギー班（風力発電）



私たちは、風力発電について研究しています。その中でも特に、洋上風力発電に焦点を当てて研究を進めています。

今後は、洋上風力発電をどのように普及させていくかについての案を考えていきます。

③エネルギー班（水力発電）

私たちは、水力発電について研究しています。その中でも特に、中小水力発電に焦点を当てて研究を進めています。

中小水力発電を通して、水力発電が今後、より普及していくための策を考えていきます。



④ゴミ班



私たちゴミ班は、ゴミ問題の中でも特に、アパレルゴミに焦点を当てて研究しています。

これから本の輪読などを通して、様々な知識を蓄え、それらの問題に対しての独自の解決策を考えていきます。

今後は、それぞれの班ごとに、それぞれの分野に分かれて、少し専門的な知識を学び、自分たちが進めたい研究テーマをより明確にしていきたいと思います！

（良永ゼミ一同）

各種募集・イベント案内



◇すいたクールアースウィーク・すいたムーンライトコンサート◇

9月24日（火）～10月11日（金）は地球温暖化防止に向けた取り組みを広げる週間です。期間中に、さまざまなイベントを開催します。

【メインイベント：すいたムーンライトコンサート】

CO₂排出量ほぼゼロで行います。音楽に耳を傾けながら、地球環境に思いを馳せませんか。キッチンカーも出店予定！

- ◆日時／令和6年10月11日（金）コンサート…18：00～20：00 ※荒天時中止
- ◆場所／江坂公園 野外ステージ
- ◆費用／入場無料
- ◆問合せ／アジェンダ21 すいた事務局（吹田市 環境政策室内）

[TEL] 6384-1782 [Mail] env-keihatsu@city.suita.osaka.jp



◇小学生向け環境イベント～吹田で昆虫さがしと気象のお話し～◇

吹田にはどんな虫がいるのかな？紫金山公園で探してみよう！昆虫や生きもののために私たちができることは？地球温暖化との関係はどうなってる？などなど、カマキリ博士こと渡部先生に聞いてみよう！

- ◆日時／令和6年8月21日（水）10：00～11：30 受付は9：45から
- ◆場所／吹田市立博物館 2階講座室（活動は野外）
- ◆対象／小学3～6年生と保護者の方
- ◆定員／15組・多数抽選 ◆費用／無料
- ◆申込方法／ハガキまたはFAXで博物館まで（博物館のホームページ参照）
- ◆問合せ／吹田市立博物館



博物館 HP

[TEL] 6338-5500 [FAX] 6338-9886



アジェンダ21 すいた会員募集

アジェンダ21 すいたは、持続可能な社会を目指す市民、事業者、行政のパートナーシップ組織です。地球温暖化防止や食品ロス削減をはじめ、様々な取り組みを実践しています。あなたも一緒に活動しませんか。

入会希望の方は、アジェンダ21 すいた事務局まで
【アジェンダ21 すいた事務局】
〒564-8550
吹田市泉町1-3-40
吹田市役所環境部環境政策室内
TEL 06-6384-1782
FAX 06-6368-9900



アジェンダ21 すいた HP

～エコレター編集担当 関西大学良永ゼミより～

●編集後記●

エコレターをお読みいただきありがとうございます。良永ゼミでは研究テーマごとの班分けが決定しました。学び得た新たな知識や考えはエコレターを通して吹田市民の皆様と共有させていただきたいと考えております。

次号もよろしくお願ひいたします。

【良永ゼミ 松浦、吉村、中川】

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS